

AA 19970029 J1

# 私学、週5日制進まず

## 未実施 中学4割、高校3割

97.9.4 朝日新聞

国公立学校が一昨年四月から月二回の学校週五日制を実施しているのに対して、私立学校では中学の四割、高校の三割が土曜日を全く休みにしない六日制であることが三日、文部省の調査でわかった。前年に比べ、学校数では高校で二十九校、中学校で二十三校、小学校で七校増えたが、比率は伸び悩んでいる。文部省は、東京や大阪などの中高一貫校での取り組みが特に不十分だとしており、私学への指導を求める同日付の

通知を都道府県へ送った。

調査は今年四月時点で高校千三百七、中学校六百十六、小学校百六十九、幼稚園八千三百九十七、特殊教育諸学校十六の計一万五百五校全校を対象に実施した。

月一回以上の土曜休日を実施しているのは高校九百六十四校、中学校三百四十五校、小学校百四十八校だった。実施率はそれぞれ七三・八%、五六%、八七・六%で、前年より二・四割程度の増加にとどまった。

五日制への移行を検討していない学校は高校百十二校(八・六%)、中学校九十校(一四・六%)、小学校九校(五・三%)あった。

地域別で六日制の比率が高かったのは中高一貫の進学校が多い地域で、高校は東京六七%、大阪五二%、京都四四%など。中学が東京七二%、大阪七〇%、京都七五%などだった。

幼稚園の実施率は九八・三%、特殊教育諸学校は一〇〇%だった。

文部省は、二〇〇三年度を目標にすべての土曜日を休みにする完全五日制への移行を決めており、私立が国公立と足並みをそろえるよう求めている。

1997.9.4. 朝日新聞